

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的発達障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。SOの活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。

現在、世界170ヶ国以上で370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に4年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約110名のアスリート会員が9つの競技種目に取り組んでいます。



2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネに向けて、雨の中を力走するトーチランナーと伴走者

## 今季のエッセイ

スペシャルオリンピックス(SO)とのかかわりは自分の学生時代にさかのぼります。ですので、大学教員・研究者という立場を活かして、以下のことでSOの活動を盛り上げていきたいと思えます。

SOの活動に富山大学の学生を参加させることを通じて知的発達障害者に対する社会の理解を促進します。SOの活動が知的発達障害者にもたらす心理的・社会的効果を客観的・実証的に明らかにし、SOが地域生活を豊かにする資源として意義深く重要なものであることを広く周知します。

に関しては、私が担当する授業の中で障害者スポーツの内容として必ず紹介するだけでなく、授業との

SON・富山副会長 水内 豊和

ジョイントで、昨年度はフロアホッケー、今現在はボウリングプログラムに学生を参加させてもらっています。また に関しては、「アスペハート」という雑誌に「健康・運動に対する発達障害者の自己意識をくむ」(第24号)、「SON・富山にみる知的障害者と健常者とのユニバーサル・スポーツ『フロアホッケー』の広がり」と深まり」(第27号)として、SOの活動の意義と諸効果について寄稿しています。

今後もSOボランティアの大学でのサークル化など、私が形にできる可能性のあるアイデアがあれば教えてください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネに参加して

2011年6月25日～7月4日、世界170の国と地域から8,684人の選手団が参加して、22種目で行われました。日本選手団は、75人。その

中、アスリート1人とコーチ1人がSON・富山からの参加でした。

SOでは7年前からボウリングを始めましたが、上海大会のときはまさか自分が世界大会に出るなんて夢だと思っていました。でも、その夢がかなってアテネに行くことができたこと、本当にうれしかったです。世界大会は開会式からそのすごさにびっくりしました。特にひもをつたって聖火が聖火台についたときには感動しました。一番うれしかったことは、もちろんダブルスで金メダルを取ったことです。最初はトイレに行きたいの言えずに試合をしていたので、悪い点数でした。2ゲーム目の途中でコーチがトイレに連れて行ってきて、そのあと調子が出てきました。そして3ゲーム目は173点というハイスコアが出せました。それから、僕の誕生日は6月20日で、ロードス島でボウリングチームで祝ってもらい、そのあとアテネに向かう船の中でも誕生日会をしてもらい



### 日本選手団ボウリング競技アスリート 長久 慎吾

ました。コーチ全員からの寄せ書きは宝物です。24歳の誕生日は最高の思い出になりました。

大会中は、ダブルスのペアの入江君（SON・岡山）と何をするのも一緒に、本当に仲良く過ごしました。だから二人で励ましあって試合に臨んだので、ダブルスで金メダルを取れたことが何よりもうれしかったです。またいつか二人でダブルスを組み世界大会に出ようと約束をしました。荷物が重くて大変だったり、時間に追われて眠る時間が少ししかなかったり、洗濯は自分で手洗いしたり、毎日同じ食事ばかり食べたり、大変だなと思うこともありましたが、それでもまた世界大会に行きたいと思えるほど、素晴らしい経験でした。ソートンコーチ、本田コーチ、竹越コーチ、本当にありがとうございました。チームのみんなにも、コーチにも、また会いたいです。



### 日本選手団卓球競技ヘッドコーチ 林 慎二

アテネ大会へは、滋賀、新潟、栃木、東京の4人のアスリートを引率して参加してきました。3週間近くもTVやPCのない環境で、べったりと同じ人と向き合う機会なんて、たとえ自分の子どもであってもないかもしれません。引率したアスリートを通じて、彼らと彼らのファミリーとの絆、それぞれの地区の皆さんの日頃からの地道な努力やアスリートにかかる思いを強く感じました。引率した全員が体調を崩すことなく全競技日程をこなすことができたことはもちろん、全員が金メダルを獲得することができ、結果についても満足しています。アスリートもプレッシャーを感じていたでしょう、試合が終わった後、緊張から解放されたときの笑顔は忘れることができません。

ことは、私にとって貴重な体験となりました。このような機会を与えてくださったSON・富山の人たちや、アスリートを育ててこられたファミリーとその地区の皆さんに感謝したいと思います。このように、日本中・世界中のスペシャルの仲間と想いを一つにして、非日常的なことを体験できるのもスペシャルオリンピックスの大きな魅力の一つだと痛感しました。

ヘッドコーチとして世界大会に参加できた



## 富山で7回目となるトーチランを開催しました

2011年5月29日(日) 富山市にある県庁前公園をスタートする12区間約4キロのトーチランを開催しました。2004年9月26日、富山で最初のトーチランは、高岡市で開かれました。その年の11月10日に富山市でもSO 冬季世界大会・長野に向けた500万人トーチランを開催しました。以後、富山では、年間1回の割りで、世界大会や全国大会に向けたトーチランを開催し、今回の世界大会・アテネに向けたトーチランは、7回目の開催でした。



開会式での長久慎吾(ボウリングアスリート)と林(卓球ヘッドコーチ)

トーチランナーとしてのアスリート50人とそのファミリーのほか、ボランティア約200人、総勢300人があいにくの雨をもるともせずに、元気よく走りきりました。



スタート直後のトーチラン

今回のトーチランでは、ゲストランナーとしてダイチ株式会社からバンクーバーオリンピックにも出場して銀メダルと大活躍された穂積雅子さんはじめ、門奈津実選手、監督の羽田雅樹さん、2007年にSON・富山と相互支援協定を結び、毎回のプログラムにプロ選手を派遣して指導いただいている、bjリーグ富山グラウジーズから東勝彦選手と橘佳宏選手に、トレーナーの北井友大さん、マネージャーの小長井亮兵さん、フロントスタッフの志村豊さんなどが全コースを走っていただきました。



中継地点での様子

また、富山市内、実に17分団から48人の消防団員の方が参加くださいましたし、各区間では、大谷製鉄・富山工業高校ボランティア部・ソニー生命富山支社・明るい社会づくり・北陸ビジネス専門学校・富山高志ライオンズクラブ・日本海ガスの皆さま、高岡・しらとり・とнами東各支援学校の皆さま、富山県厚生部・富山市福祉保健部の皆さま、一般参加のボランティアの皆さま、ほんとうにたくさんの方々が、トーチランを支えてくださいました。

今回のトーチランは、当日のTVやラジオのニュースで取り上げられました。翌日の新聞でも大きく報道され、長久・林両君をアテネに元気に送り出す原動力となりました。



雨の中をサポートくださいました

## トーチランに協力してくださった皆様

### 今後もトーチランに参加！

アメリカでスペシャルオリンピックスのトーチランが最初に開催されたとき、消防隊員がボランティアの先頭に立って活動を積極的に押し広めたと聞き、私は、数年前から消防団としてトーチランに参加させてもらっています。今回は富山市内の17分団総勢48人が参加し、トーチランの目的の一つである「広く市民に知ってもらう」に貢献できたのではないかと思います。雨天の中でしたが、アスリートが雨をもるともせず駆け回っている姿が印象的でした。

富山は、トーチランの開催が全国一と聞きま

富山市消防団富山方面団 団長 小川重勝  
したが、今後も微力ながら「火消の心意気」で協力させていただきます。



### グラウジーズとして参加したトーチラン

#### bjリーグ富山グラウジーズ フロントスタッフ 志村 豊

トーチランに、富山グラウジーズとして参加させていただきましたが、S0の方々はアスリートを含め、みなさんとともに元気で、パワーをいただきました。あのパワーにはとても驚いたとともに、「負けてられない！」と思うほどでした。

参加してみて、皆さんが一生懸命に取り組む姿勢がとても印象的でした。掛け声は大きな声で、地域の方が家から出てきて見に来られるほど。当日はあいにくの天気でしたが、その元気で悪天候を吹き飛ばし、地域にも活気を与えた、とても良いトーチランになったのではないで

しょうか。

我々も、富山のプロバスケットボールチームとして、地域を元気に、みなさんを元気にできるように、S0の方々に負けないようにがんばっていきたいと思います！最後になりますが、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



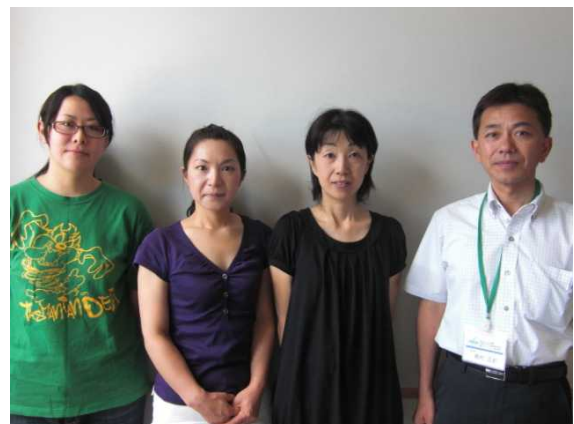
### 学校法人 白井学園

世界大会のトーチランは、何回もある企画ではないと思います。当日は天候も悪く心配しましたが、雨の中、たくさんの人たちが集まっていた驚きました。アスリートの元気な姿がとても印象的でした。ボランティアで参加しましたが、雨でもトーチランをやり遂げようというスペシャルの意気込みも感じられ、私たちの方が感動してしまい、逆に楽しませていただきました。

介護福祉科、精神保健福祉学科では、実習としてボランティアで参加しています。ボランティア体験には、学校の学習では得られないものがあります。参加することで生徒たちに障害者などへの関わり幅を持たせていきたいと考えています。今回、参加したことで私たちも、勉強や日々の生活に目標を持っていかなければならないと教えられました。良い体験になりました。

#### 北陸ビジネス福祉専門学校 校長 高村 正志

「ウィーアー（We Are）、トーチラン、トーチラン、トーチラン」。今も脳裏に残っています。一区間の人数で参加したかったのですが行事と重なり残念です。今後もお知らせください。学校行事と重ならなければ参加する予定です。



左から生徒の井崎美佳さん 山田裕子さん 関口裕子さん 高村校長先生

## トーチランに協力してくださった皆様

### アスリートの世界がより広がることを祈って

雨の中、トーチランを走るアスリートは大変だったと思います。あいにくの天候の中でのイベントでしたが、あのようなイベントを通じて、ボランティアの参加がもっと増えればいいと思っています。

特に、アスリートと同年代の大学生、あるいは中・高校生といった若者が、もっとスポーツを通じてアスリートと交流し、一緒に成長していけたら素晴らしいと思います。アスリートにとっても、ボランティアにとっても、新しい発

## ダイチ株式会社取締役会長 田中 実

見や出会いの場になるのではないのでしょうか。

ダイチ・スケート部は今回、初めてSON・富山のイベントに参加しましたが、一回きりで終わらずに、これからも何らかの形で一緒に活動できる機会をもてたらと思っています。



## WGのアスリートとコーチが知事や市長に成果を報告

2011年7月15日(金)、2011年スペシャルオリンピック夏季世界大会・アテネにSON・富山から出場したアスリートとコーチ、そのファミリーが、藤井裕久 SON・富山会長、五十嵐務同顧問、吉田満同事務局長と共に富山県庁に石井隆一富山県知事を訪問しました。

報告したのはボウリング競技アスリートの長久慎吾さん、卓球競技コーチの林慎二さんです。長久さんは、男子ダブルスで金メダル、男子シングルスで6位、男子チームで4位と大健闘。林コーチが率いた卓球のアスリートも、金

メダルの他、入賞多数の活躍でした。石井知事から「障害を乗り越え、世界を舞台に、日ごろの成果を発揮されたことはすばらしい。男子ダブルスで長久さんが獲得した金メダルは、スペシャルオリンピックの夏季世界大会では、本県初の金メダルで、県民として誇りに思います。林さんもコーチとして大変すばらしい結果を残されました。今後ますますのご活躍を祈っています」と、お祝いのおことばをいただきました。



石井知事に報告する長久慎吾さん(左)と林慎二さん



長久さんの金メダルを首にかけてみる石井知事

また、7月21日(木)、長久さんは齋藤行男 SON・富山副会長に伴われ、地元である射水市役所小杉庁舎を訪れ、夏野元志射水市長に大会

での成績を報告しました。

夏野市長からは、「金メダルを持って帰ってきてくれて本当に嬉しい。金メダルを取るということは、今まで頑張ってきたことが形となって、これからも大いに励みになること。しかし、長久さんには、これに満足することなく、更に頑張ってください」とお言葉をいただきました。続いて、長久さんから市長へ、「市長さんをはじめ、地元の皆さんにたくさん応援していただき、本当に感謝しています」と感謝の言葉を述べました。



夏野射水市長(右)にメダルを見せる長久さん

# トーチラン協力企業の紹介

## ソニー生命保険株式会社富山支社

ソニー生命株式会社富山支社さんはファイナンシャルプランナー（FP）の資格を有した生命保険のスペシャリスト集団です。対象は一般家庭から企業までで、内容は生命保険をはじめ学資保険から年金保険まで幅広く取り扱っています。

ライフプランニングに基づいたコンサルティングで合理的な保険を設計し、担当者がお客様を一生サポートします。また、社会貢献活動として、企業の社員や学校向けにライフプランニング授業も行っています。

全国 87 もの支社を展開するソニー生命さんとS0との関わりは、1996年11月にソニー生命さんがSONのナショナルパートナーになられたことからスタートしています。ソニー生命さんには「ソニー生命ボランティア有志の会」があ

り、S0の日頃の活動に加え、各種の大会等でS0を支えてくださっています。2010年夏季NG・大阪では延べ950の方がボランティアとして参加されたということです。

富山支社でもSON・富山の活動に協力してくださっています。プログラムでは2009年から、松岡英治さんがサッカープログラムのヘッドコーチを務めてくださっていて、松岡さん以外にも川原さん他、常時数人の社員の方がコーチとしてトレーニングに参加してくださっています。プログラム以外のトーチランや各種大会にも支援をいただいています。中でも、昨年のBG富山には富山支社の皆さまが会社を挙げて参加くださいましたし、2011年5月のトーチラン in 富山では、第7区間を担当してくださいました。



左から、川原隆士さん、金子悟志さん、松岡英治さん



富山支社のみなさん

## ソニー生命保険株式会社富山支社

富山市牛島町 18 - 7  
アーバンプレイス 6F  
Tel 076-443-0701

## トーチラン参加者の声

### しらとり支援学校 奈呉江真悟先生

トーチランにボランティアスタッフとしてご参加いただきました、しらとり支援学校の奈呉江先生にいろいろとお話を伺いました。

奈呉江真悟先生は特別支援教育に関わって6年目。現在、しらとり支援学校で勤務されています。2007・2008年、サッカープログラムのヘッドコーチを務めていただいた井川拓哉先生の紹介で、今回初めてS0の活動に参加してくださいました。「以前から知っているアスリートがいたので、当日は、特に心配なことや困ったこともなく参加できました。雨にもめげず一生懸命声を合わせて、掛け声をかけたり、募金を集めている姿がとても印象的でした。S0の活

動が、アスリートが社会に認められるきっかけになることを願っています」と優しい笑顔でお話くださいました。



先生のモットーは、「生徒と一緒に活動していくこと」だそうで、まさにS0にぴったり～！フットサルが好きな、若くて頼もしい先生です。奈呉江先生、本当にありがとうございました。これからもS0をよろしく願います。

# 職場でがんばるアスリート

## 谷口正夫さん(地域共働作業所「報恩の家」勤務)

「おわら風の盆」で全国的に有名な富山市旧八尾町で、市街地から車で約10分ほど南へ上った自然豊かな中山間地域の野積地区にある愛和報恩会「報恩の家」で、卓球に参加している谷口正夫さんが働いています。

谷口さんは愛和報恩会の運営する寮で生活しながら、朝8時から夕方4時半まで作業をしています。5月には田植え。その後は草取り。地域の環境を整えるため耕作放棄の土地に花畑を作り、その花の世話をして地域維持の活動もしています。



報恩の家の所長代行の大島健一さんのお話では、草刈りの作業で、始めの頃は歯を全て欠けさせてしまったりしてうまく使えなかった草刈り機も、今では上手に使うことができるようになったと話してくれました。

「体を使って働くことが自分に合っている」と、真っ黒に日焼けした顔を輝かせる谷口さんでした。また、愛和報恩会では、有機野菜や山菜、オリジナルのジャムや手作りのお団子などを販売しています。ぜひ味わってみてください。



連絡先 特定非営利活動法人 愛和報恩会  
地域共働作業所「報恩の家」  
場所 富山市八尾町西川倉 23番地 1  
TEL/FAX 076-455-0597

## 救命救急講習会を開催しました

7月16日(土)、SON・富山では、トレーニング会場でのリスク管理の一環として、不二越体育で救命救急の講習会を開催しました。参加したのは、各競技種目でヘッドコーチやマネージャーを務めるボランティアやファミリー約20人です。年長となったアスリートも2人が参加しました。講師は、立山町の消防署に勤務する金山彰さんです。

講習は、一とおりの説明のあと、参加者が一人ずつ実技します。呼吸を感じ取られない傷病者には、AEDが準備されるまでの間で、心肺蘇生術を実施します。SP委員会では、昨年、熱中症対策を強化しました。講師からは、救命救急法のほかにも熱中症の対処法も教えていただきました。土壇場になっても、落ち着いて行動できるようになりたいものですね。



講師は、金山 SON・富山ファミリー委員長



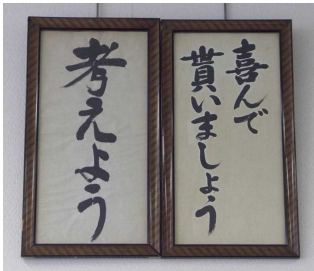
傷を負っていたり嘔吐していたりと、想定外の対処法も教えてもらいました

# 協力企業の紹介

## 北酸株式会社

社員が全員参加で顧客の信頼を 100% 満足させる品質の提供を目指す北酸株式会社さんを紹介します。グループ企業と併せて、私たちの暮らしや産業に欠かせない LP ガスや産業ガス、医療ガスの製造と販売が主体です。早くから樹脂や工業薬品といった化学品部門を設け、最近では介護サービスの事業も手がけます。お客様にも仕入先にも、地域の人たちにも「喜んでもらえる」をモットーとし、「社員が自分の子を就職させたいような会社になりたい」と、代表取締役社長の山口昌広さんは熱く語ります。

山口社長は、富山青年会議所 OB 有志が中心



社是の額



北酸株式会社本社

### 北酸株式会社

930-0029 富山市本町 11 番 5 号

電話 076-441-2461

創立 昭和 12 年

代表取締役社長 山口 昌広

従業員 142 名 (平成 23 年 4 月)

<http://www.hokusan.co.jp/>

となって立ち上げた SON・富山設立準備委員会の初代会長です。それまでも障害者の音楽やスポーツを後押しするイベントに携わってこられたそうで、細川佳代子(当時)理事長に会われ、世界的に広がる活動の素晴らしさに感銘を受けられたとのこと。

2004 年 11 月に開催された WG・長野 500 万人 トーチランでは、2つの区間を担当していただきました。ボランティアが土日を厭わず、時間を惜しまずサポートする SO の活動を、これからもずっと応援していきたい、と話されます。



本社、管理本部の皆さま

## 医薬品連盟社会貢献ナイトフォーラムに参加しました

7月19日(火) 18:30 から、富山市のポルフェルトとやまで、医薬品連盟(医薬品産業労働組合連盟)の社会貢献ナイトフォーラム 2011 in 富山が開催され、スペシャルオリンピックス側からは、三井嬉子 SON 会長と、林慎二 SON・富山スポーツプログラム副委員長が壇に上がりました。医薬品連盟の伊関勉社会貢献委員長のご挨拶では、「組合員の方の一人でも多くの方に、SO の活動、医薬品連盟の活動を知っていただきたい」と、ご支援のお言葉をいただきました。



SO の支援をご表明いただいた伊関委員長

三井会長は、講演の冒頭で、SO の活動のすばらしさを披露され、林 SP 副委員長は、アテネ世界大会に出場して、「純粋な彼ら(アスリート)はパワースポット。子が SO に参加することによって、その家族も自分たちの世界が大きく広がる」と説明しました。



演題



## プログラム紹介 <フロアホッケー> (冬季プログラム)

### フロアホッケーとは

フロアホッケーはカナダで生まれ、スペシャルオリンピックが独自にルール等を開発した、体育館で行うアイスホッケーのような競技です。SON・富山が最初に始めたプログラムも、このフロアホッケーです。

1チームは11~16人ですが、試合はゴールキーパーを含め6人対6人で行われます。棒状のスティック

で、ドーナツ型のフェルト製パックを奪い合い、相手のゴールにシュートをし、得点を多く上げたチームが勝ちとなります。コートのはさはバスケットボールコートほどで、ゴールの大きさはアイスホッケーゴールくらいです。



シュート練習



ゲーム

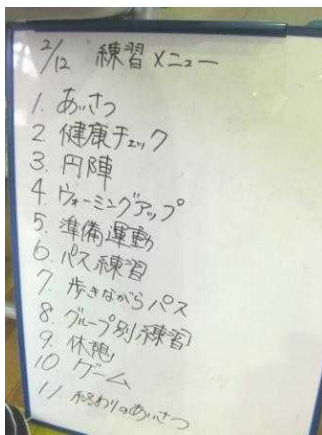
### プログラム練習内容

フロアホッケーは冬季種目で、年間に8回のトレーニングと1回の競技会が行われます。

プログラム会場は、高岡市の福岡小学校体育館と富山市の不二越体育館で交互に行われました。(2011年度)担当のコーチと健康チェックを行った後、準備運動、パス練習、シュート練習やグループ別練習をして、最後にゲームをします。練習後は、その日の内容を担

当のコーチと一緒に振り返りチェックをして終わります。

スティックの持ち方にも慣れず、ルールも分からない状態で始めるアスリートですが、継続して参加しているうちにだんだん上達し、ゲームをするのが楽しくなっています。



ある日の練習メニュー



健康チェック

### 用品の紹介

- ヘルメット (2年目以降は各自で購入) 約12,000円
- スティック <90cm・120cm> (各自で購入) 2,000円 (送料別)
- キーパー用のスティック
- すねあて (各自で購入) 4,800~6,000円
- グローブ (各自で購入) 3,200~5,600円
- パック (各自で購入する必要はありません)
- 価格は変動することがあります



防具一式とスティック

## 賛助病院紹介

### 小栗小児科医院

小栗絢子先生が、この場所に小栗小児科医院を建てられて、今年で 27 年目になります。その後、改築され、現在のような温かみのある雰囲気になりました。特に、待合室には大きな窓があって、車が好きな子どもたちが外を眺めて楽しめる間取りになっています。

先生は、「どんな小さな心配であっても相談しやすく、アドバイスできる医院でありたい」とご説明され、「私は予防医学が大切だと思っている。病気になってから病院で診てもらうのではなく、病気になる前に検診等で未然に病気を防ぐことの大切さを伝えたい。患者さんも受け身でなく、自分でも学習してほしい。そして分からないことがあったら何でも相談してほしい。私も適切なアドバイスができるよう勉強している」と、おっしゃいます。受付の横の棚には、手作りの健康一口メモなどが置いてありました。



地域活動や社会福祉に向けた思いについて先生は、「今は、保健センターや小学校、保育園を受け持っている。

その合間に医師会に参加したりして、毎日忙しくしている。スペシャルオリンピックスとの出会いは、医院の前が支援学校のバスの停留所になっていて、患者として通院されたアスリートのお母さんがチラシを持ってこられたり、富山市の小児科医、八木先生が紹介してくださったりしたことがありました。私は、細川佳代子理事長の講演会も聴きました」とおっしゃり、「スペシャルオリンピックスはとても素晴らしいと思う。私自身は忙しくて協力できませんが、応援しています」と励ましてくださいました。小栗絢子先生も、SON・富山を応援くださる賛助会員です。



#### 小栗小児科医院

高岡市野村869

電話 0766-23-2229

ファックス 0766-22-8589

<http://www17.ocn.ne.jp/~oguri869/>

休診日：日曜、水・土の 15:30～

## トレーニングの様子（バスケットボールプログラム）

若さと熱気あふれる SON・富山のバスケプログラム。今年度からは本田智寛ヘッドコーチが中心となり、アスリートを指導してくださっています。トレーニング会場は、卓球と同じく不二越体育館です。富山でバスケPがスタートした 2007 年から、bj リーグ富山グラウジーズのプロ選手の方々が、毎回、欠かさずに指導にきてくださっているのです。

1 回のメニューは、全員でランニング、ストレッチ、フットワークなど基礎的な練習の後、レベル別のグル

ープに分けて、細かな技術を教わります。最後は、アスリートが楽しみにしている試合です。9 月に東京で開催される 2011 年第 1 回全国バスケットボール大会には、もちろん出場します。詳しくは、富山の活動ブログをご覧ください。

[http://blog.livedoor.jp/son\\_toyama/](http://blog.livedoor.jp/son_toyama/)

バスケットボール以外の種目の様子もご覧いただけます。



シュートを打つときの手の使い方を指導される阿部（富山 GR）コーチ



試合形式の練習も、堂に入ってきました

## 自立を目指すアスリート

スペシャルオリンピックスには、「トレーニング・フォー・ライフ」ということが言われていて、トレーニングや競技の現場で身につけたことが、アスリートの自立、社会参加を促し生活の質の向上につながるこ

前提として「独力で自由に移動できるということの楽しさや素晴らしさ」を親子で共有しなければならないと思います。自家用車以外の乗り物に興味を持つことも必要。その上でまず、最初に簡単な「目標ルート」を設定し、親子で一緒に何度も何度もそのルートを通います。徒歩の場合は、信号や交差点横断の注意点を確認しながら、電車やバスの場合は、切符や整理券などの扱い方、降車ボタンのタイミング、現金が難しい場合は回数券を準備します。

いざ独りで、といっても最初は心配で、本人に気付かれないようにこっそり尾行しました。こうして一つ一つステップアップしていけば、本人にも親にも自信がついてきます。今では、自力で図書館に向いて資料を集め、休日に金沢市内などを自由に散策しています。

とを目指しています。「トレーニング会場へアスリートを一人で行かせる」ことを実践している会員の澤田守弘さんに、息子さんの一将さんのトレーニング・フォー・ライフを紹介してもらいました。



さすが、澤田さん、すばらしい挑戦ですね！

## 事務局から

### 2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島

テーマは、「心強く、心豊かに、心ひとつに心うつくしまふくしま」です。開催地である福島においては、大会の成果を今後のスペシャルオリンピックス活動に活かすことはもちろんのこと、アスリートの勇気を震災からの復興のエネルギーにできるように大会にしたいと願

っています。

この大会での成績は、2013年に韓国江原道・平昌（ピョンチャン）で開催されるスペシャルオリンピックス冬季世界大会のアスリートの選考で考慮されます。

期間：2012年2月10日（金）～2月12日（日）3日間

### 冬季ナショナルゲーム福島 トーチラン in 富山

日時：2011年11月27日（日）10：00～14：00

場所：富山市総曲輪通、

グランドプラザ、中央通

参加費：1,500円（オリジナルTシャツ付）

詳細は別途参加者宛に案内します。

SON・富山では、このトーチランの参加者を募集しています。参加ご希望の方はメール [info@son-toyama.jp](mailto:info@son-toyama.jp) 又は代表電話 090-6273-3129 に連絡くださるようお願いいたします。なお、締め切りは、10月31日（月）です。

### ボウリング競技会のボランティアスタッフ募集

2011年10月23日（日）SON・新潟と合同で、ボウリング地区競技会を開催します。ボランティアスタッフを募集していますので、ふるってご応募くださるようお願いいたします。会場は JR

小杉駅南口のクアトロブーム小杉。お申し込み方法は、SON・富山のホームページに掲載します。

### 新しく、テニスプログラムがスタートします！

2012年夏季シーズンから、SON・富山の10番目の競技種目としてテニスを取り入れることができる見込みになりました。11月19日（土）に、お試しプログラムを開催予定です。詳しく

は、SON・富山のホームページに掲載しますので、テニスに興味があるアスリート、コーチの皆さん、どんどんご参加ください

< 賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2011年3月11日~2011年6月30日) >

敬称略

青木 正嗣	尾塩 沙加恵	笹井 美保	谷口 正夫	西野 昌樹	前田 恵佑	毛利 優樹
青木 洋子	尾塩 真子	笹井 隆康	谷崎 徹朗	西野 淳子	前田 万里子	森永 匡俊
青木 隆済	海内 晴佳	佐々木 佑	田村 宏道	西野 彰	前田 友幸	森永 ゆみ江
青木 誠之助	海内 孝明	佐野 喬哉	塚本 裕香子	沼田 友恵	前田 一也	森永 文夫
浅野 達哉	笠間 晃一	澤田 守弘	辻 龍之介	野手 美由貴	前田 拓海	八木 信成
新出 浪子	金森 弘樹	柴田 真成	寺島 知駿	野手 光子	前田 久美	八木 恵子
荒見 真央	金森 五月	柴田 万希子	寺島 慶子	長谷部 裕子	牧野 玲子	八木 信一
石井 純	金山 彰	清水 和夫	寺畑 雅英	花木 直二	巻端 克文	柳田 典子
石井 郁子	金山 敦	姿 哲也	鳥内 勇人	林 繁信	松岡 英治	山岸 明子
伊勢 千紘	上 卓	杉田 幸平	中嶋 利雄	林 紀子	松田 智至	山口 恵美
岩白 翔太	上 文佐乃	杉田 康子	長久 慎吾	林 慎二	三上 恵美子	山口 修
岩白 真美子	上 隆義	杉森 建彦	長久 栄子	開 和美	三上 裕之	山崎 麻住実
岩白 誠	北野 英美	杉森 弘子	長久 満	開 裕貴	水内 豊和	山崎 政行
岩白 真衣	下条 昌輝	杉森 真一	長久 大祐	福島 朝子	三松 隆之	山本 憲文
岩瀬 妙子	下条 由季子	杉森 香代子	中村 和馬	福島 亘	三松 絹枝	横井 一成
岩瀬 武	下条 竜一	杉森 亮太	中村 ゆかり	福島 茂次	宮崎 花恋	両角 良子
上濃 良重	河内 雅人	杉森 喜三郎	中村 愛菜	福島 志美子	宮下 陸也	渡辺 友里
宇於崎 拓真	河内 久美子	素谷 孝子	中村 未来	福田 孜	宮下 洋子	腰田 恵子
宇於崎 俊陽	石仙 拓洋	素谷 宏	中山 真美	二口 悠太郎	宮下 敬	渡辺 隆志
魚津 亘紀	坂田 翔太	高瀬 祐子	中山 育子	二口 桂子	宮野 光正	渡辺 久子
円仏 和司	坂田 裕紀	高田 伸夫	中山 正之	二口 逸郎	宮野 明美	渡辺 康広
大坪 敏彦	坂田 優子	高田 直哉	中山 正詞	方堂 千恵子	宮林 亮	渡辺 守人
小川 隆	坂田 崇	高畑 一樹	中山 スミエ	本田 繁	村上 朝子	
小川 清美	坂野上 満	高畑 武志	波岡 一子	前川 久美子	村下 昭一郎	
荻生 明美	笹井 大生	田作 京子	西田 直子	前川 馨	村中 洋介	
あかりハウス	梅かま	渋谷クリニック	高岡支援学校	高岡ライオンズクラブ		
クアトロブーム小杉 ボウリング場	財団法人日本ボウリング協会富山県ボウリング連盟					
富士ゼロックス北陸株式会社 富山事業所	大谷製鉄(株)	北酸物流(株)	ミカド工業			

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山  
(日本は、「ニッポン」としてください。)  
北陸銀行本店(店番 101)、普通口座 5308370  
ゆうちょ銀行 00720=0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円  
<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

私たち富士ゼロックス北陸(株)は、  
スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

## Kids' ISO 14000 プログラム

Kids' ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供を育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、以下の活動を行っています。

◎ 地域から信頼され、社会に対する責任の一端を担うために、  
近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。

◎ 『Kids' ISO14000プログラム』活動をサポートする  
ボランティアスタッフや採点サポーターを育成しています。

FUJI XEROX 



富士ゼロックス北陸株式会社

富山事業所/富山市新桜町 5-3

TEL: 076-431-2121